

▼モニラックシロップ・▼ピアーレDS, △ラグノスゼリー, ◎ラグノスNF 経口ゼリー [内]

【重要度】 【一般製剤名】ラクツロース (U) Lactulose 【分類】経口用二糖類製剤

【単位】▼10mL/包 [65%], ▼95%DS, △16.05g ゼリー分包, ◎12g/NF 経口ゼリー

【常用量】■モニラック：30～60mL/日（ラクツロースとして19.5～39g）

■ピアーレ：20.5～41.1g/日（ラクツロースとして19.5～39g）を用時溶解して投与

※下痢が惹起されることがあるので少量より投与を開始して漸増し、1日2～3回の軟便が見られる量を投与

※注腸：50～150mL [経口投与量の3～10倍]を微温湯で2～3倍に希釈して注腸（MINDS）100mL+生食100mLを1日1～2回注腸 [1hr 貯留]（日消誌107: 14-21, 2010）

【用法】分2～3

【透析患者への投与方法】常用量（Lin CJ, et al: J Food Drug Anal 24: 876-80, 2016 PMID: 28911627）

【保存期CKD患者への投与方法】常用量（5）

【特徴】大部分が消化吸収されずに下部消化管に達し、細菌によって分解され乳酸、酢酸などの有機酸を生成しpHを低下させる。本剤投与により特にグラム陰性菌が減少するためグラム陰性菌の代謝産物であるアンモニア、アミンなどの発生が抑制され、乳酸菌が相対的に増加するため糞便内pHが低下しアンモニアの吸収が抑制される。肝性脳症患者の精神神経症状、脳波所見が改善する。吸収されないため浸透圧下剤としても用いられる。

【主な副作用・毒性】下痢、腹痛、腹鳴、鼓腸、嘔気、食欲不振など

【吸収】3%以下（1）

【代謝】大腸において加水分解されガラクトース、フルクトースになり、最終的には乳酸、蟻酸、酢酸、二酸化炭素、水になる（11）

【排泄】糞中排泄（4）わずかに吸収されたものは腎から排泄（11）尿中未変化体排泄率1%（1）

【MW】342.30

【透析性】除去率83.6±8.9%（Lin CJ, et al: J Food Drug Anal 24: 876-80, 2016 PMID: 28911627）

【効果発現時間】24～48hr

【更新日】20191204

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。